

水産業強化支援事業事後評価報告書

		千葉県	
政策目的		令和元年台風15号及び19号により被災した施設の復旧	
政策目標		経営構造改善目標	31-6
事業実施主体		鋸南町勝山漁業協同組合	
実施地区名		鋸南町勝山地区	
実施期間及び目標年度	実施期間		目標年度
	令和元年度		令和4年度
交付金額		3,850,000円	
事業計画の内容		令和元年台風第15号及び第19号により被災した施設を早急に復旧することで、浜の活力再生プランの遂行を図る。（作業施設の修繕、漁具倉庫（4棟）の修繕）	
評価	成果目標		1 目標の内容 本漁業協同組合所属の組合員による水揚量を指標とする。 2 目標の考え方 被災した共同利用施設を現状復旧することで、水揚量の回復を図る。
		現状値	■■■■トン（令和2～4年度平均）
		目標値	■■■■トン
	（1）現状値の説明		成果目標である水揚量は、急潮での水揚減少及び養殖魚の売上数量の減少等により計画時に比べ厳しい状況となったが、サバ・イワシ・ブリ類の水揚げにより目標比87.9%の実績となった。
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）		作業施設及び漁具倉庫の復旧により、漁業者の生産性の利便及び漁具等の維持に繋がるとともに、漁港内の整頓が図られている。
	（3）所見		原油価格高騰・異常気象（急潮含む）等、漁業を取り巻く環境は更に厳しい状況にあるが、被災施設の復旧により利便性の向上等が図られ、組合員の水揚げ増加に寄与しているものと考えられる。
	（4）評価機関の意見等		
今後の改善方向等に関する分析		魚価の上昇がみられ、水揚げ金額も増加している状況であり、今後も作業施設及び漁具倉庫の利用は大いに見込まれる。復旧施設の有効活用による利便増加により、組合員の生産性向上が期待できる。	